

科目名	18. 生活行動からみるからだⅡ 情報を得てからだが動くしくみ				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎分野	単位数 (時間)	1単位 (30時間)
ディプロマポリシー(DP)	<input checked="" type="checkbox"/> 人を大切にするところ <input type="checkbox"/> 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 <input type="checkbox"/> チームの中で連携・協働するための力 <input type="checkbox"/> 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	人体の恒常性維持のための調節機構(情報受容、処理、伝達)と動くの基本的なしくみを理解することができる				
到達目標	自分のからだに関心を持ちながら、生活を営むために必要な情報の受けとり、処理と伝達、からだの動くしくみを表現することができる				
回	学習項目	学習内容			授業方法
1	① 情報の読み取り→記憶 →判断→指令①	神経伝達のメカニズム(神経細胞) 中枢神経と末梢神経の構造			講義
2	② 情報の読み取り→記憶 →判断→指令②	大脳 間脳 脳幹			講義
3	③ 情報の読み取り→記憶 →判断→指令③	小脳 脊髄(下行伝導路)			講義
4	④ 情報を得る受容器①	感覚の伝導路(上行伝導路) 見る			講義
5	⑤ 情報を得る受容器②	聞く 味を感じる・におう			講義
6	⑥ 情報を得る受容器③	触れる 痛み			講義
7	① 情報を伝える	脳神経 脊髄神経 自律神経			講義
8	② 脳の高次機能	睡眠 記憶 本能・情動行動			講義

9	①	動くための土台①	全身を形作る骨格 骨の構造とはたらき 骨の組織 骨の成長と老化	講義
10	②	動くための土台②	関節の構造とはたらき 骨格筋の構造とはたらき 筋収縮のしくみ	講義
11	③	臓器を守り、身体を支える骨格筋	臓器を守り、身体を支える骨格筋	講義
12	④	腕と手を動かす	腕と手を動かす骨格筋	講義
13	⑤	立つ・歩く	全身を支えて立つ・歩く骨格筋	講義
14	①	情報伝達	人はボールが目の前に飛んできた場合どのように行動する？	演習
15	②	動く	人はボールが目の前に飛んできた場合どのように行動する？	演習